

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和7年9月12日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週			
	33週 8月11日～8月17日	34週 8月18日～8月24日	35週 8月25日～8月31日	36週 9月1日～9月7日
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	139	505	477	572
	27.80	101.00	95.40	114.40
			0.20	
RSウイルス感染症*	1	1	1	1
	0.33	0.33	0.33	0.33
咽頭結膜熱*	1			
	0.33			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	3	8	5	8
	1.00	2.67	1.67	2.67
感染性胃腸炎	3	6	7	7
	1.00	2.00	2.33	2.33
水痘		3		7
		1.00		2.33
手足口病			2	2
			0.67	0.67
伝染性紅斑	10	18	31	28
	3.33	6.00	10.33	9.33
突発性発しん		3	3	1
		1.00	1.00	0.33
ヘルパンギーナ*	3	13	25	20
	1.00	4.33	8.33	6.67
流行性耳下腺炎		1		
		0.33		
眼科定点				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎				
基幹定点				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
マイコプラズマ肺炎	1	2	2	3
	1.00	2.00	2.00	3.00
無菌性髄膜炎				
拡張疾患				
マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	12	8	3
川崎病	1		1	1
不明発疹症	1			

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	—	—
備考	ヘルパンギーナ		

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【全数報告疾病】※栗原支所管内

- ・百日咳:男性2人
- ・県内の百日咳の患者報告数は多い状況が続いています。

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- ・県内全域で新型コロナウイルス感染症の患者報告数が増加しています。
- ・伝染性紅斑は高い水準で継続しており、警戒が必要です。
- ・ヘルパンギーナは、患者報告数が多い状況が続いています。
- ・引き続き、基本的な感染対策を徹底してください。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- ・新たな集団発生の報告はありません。

【お知らせ】

2025

結核・呼吸器感染症予防週間

9/24～9/30

- ・毎年9月24日～30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です。
- ・日本は結核低まん延国の水準を満たしていますが、今でも年間1万人以上の新規患者(約7割が60歳以上)が発生し、1,500人以上が命を落としています。長引く咳症状は医療機関に御相談ください。
- ・また、冬季は呼吸器感染症が増加します。咳エチケットや手洗い、換気等の基本的な感染対策が有効です。流行前に正しい方法を確認しましょう。

【医療機関の皆様へ】

- ・感染症法に基づく、医師の届出に必要なアカウントの発行及びシステムのログインはこちら



大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594